ラズパイでFPGA

2018/5/17

パナソニックソリューションテクノロジー株式会社 **川村 信**

自己紹介

名前 川村 信(かわむら まこと)

所属 パナソニックソリューションテクノロジー(株)

仕事

昨年9月よりデータ分析の仕事をしています。

現在、SQLと格闘中

以前の仕事

テレビ用マイコンの開発 ⇒ デジタル回路設計

デジタルテレビ用SoC ⇒ マイクロコード

⇒ 自動実機検査装置

⇒ DDR3メモリI/F

ToFセンサ ⇒ USB3.0

⇒ FPGA(画像処理)

その他 SLAM、ROS、PYTHON、動線分析などなど

休日 5歳の息子とお出かけ。

ラズパイで何かを….

誰も使っていないハードに挑戦するぞ!!



ラズパイでFPGA!!



調べてみると… ラズパイ用のFPGAってあんまりない…

FPGAとは

WikiPediaより

FPGA(<u>英</u>: field-programmable gate array)は、製造後に購入者や設計者が構成を設定できる<u>集積回路</u>であり、広義にはPLD(<u>プログラマブルロジックデバイス</u>)の一種である。現場でプログラム可能な<u>ゲートアレイ</u>であることから、このように呼ばれている。



個人がデジタル回路を作ることができる半導体のこと。

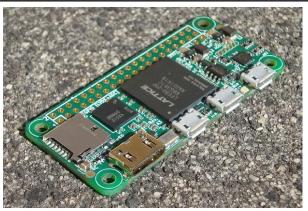
- CPUが作れる。
- ・インターフェースが作れる。
- ・映像回路も作れる。
- ・何でも?作れる。



長所短所

- ・CPUが命令を順番に処理するのに対し、 FPGAなら、並列に計算する回路を作れば高速!
- ・CPUよりクロックが遅い。
- 設計が難しい。
- ・タイミング設計が必要。

FleaFPGA Ohm Board FleaFPGA Ohm Board



ラティスセミコンダクターのFPGA「ECP5」を搭載したFPGA 開発ボード「FleaFPGA Ohm Board」が、Indiegogoに て出資を募っている。

https://fabcross.jp/news/2017/20171005_latticeecp 5_fpgadevboard_fleafpga.html

まだ売ってない

Bugblat社Raspberry Pi FPGAアドオンボード



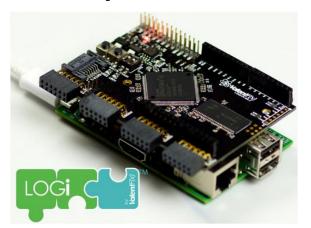
XO2: a Lattice Semiconductor MachXO2 FPGA (details at Lattice)

PIF_2: a powerful FPGA (7000 LUTs) for the Pi 1B+, Pi 2B, and Pi 3B.

http://www.bugblat.com/products/pif/

\$39.99

FPGA Development Board for the RASPBERRY PI



FPGA: Spartan 6 LX9 – TQFP144 Package - XC6SLX9-2TQG144C

Plug and play interfacing the Raspberry Pi Arduino Shield expansion allowing for more than 200 existing plug in hardware modules

https://www.element14.com/community/docs/DOC-69210/l/fpga-development-board-for-the-raspberry-pi

Price: £69.22 Out of Stock

Bugblat社Raspberry Pi FPGAアドオンボード



これに決定!

XO2: a Lattice Semiconductor MachXO2 FPGA (details at Lattice)

PIF_2: a powerful FPGA (7000 LUTs) for the

Pi 1B+, Pi 2B, and Pi 3B.

http://www.bugblat.com/products/pif/

GW前に注文









届かない。。。。



GW突入!



GW開けた。。。



🔷 来ないので別のものに手を出す。 (Xilinx PYNQ-Z1 FPGAボード)





3日後 ボード到着(早い!!)



翌日 ボード到着





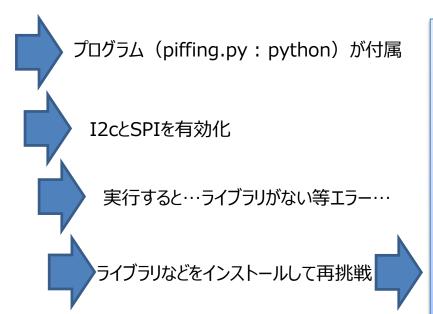
やっと届いたけど….. 動かない。



で、現在デバッグ&不具合原因究明中(涙)

以下デバッグ状況

起動するためには、まず、ラズパイがボードを認識する必要がある。





piffind.py

このデバイスIDをとっている関数が どのような処理をしているか追いかける!!

pifwrap.cpp



```
int pifGetDeviceIdCode(pifHandle h, uint32_t* v) {
  return pPif->getDeviceIdCode(*v);
  }
int pifGetStatusReg(pifHandle h, uint32_t* v) {
  return pPif->getStatusReg(*v);
```

SPI I/Fで デバイスIDを取得している ことが判明。

⇒SPI I/Fをチェックする

いろいろ書きましたが…..





でした。







押さえると動く!!





安定動作 & ラズパイもケースに入れられた!

LatticeのFPGA開発環境

付属のプログラム経由で回路データを転送すれば動作しますが、 自分で回路を作成するためにはPCに開発用プログラムを入れる必要があります。

ボードに使用しているFPGAは

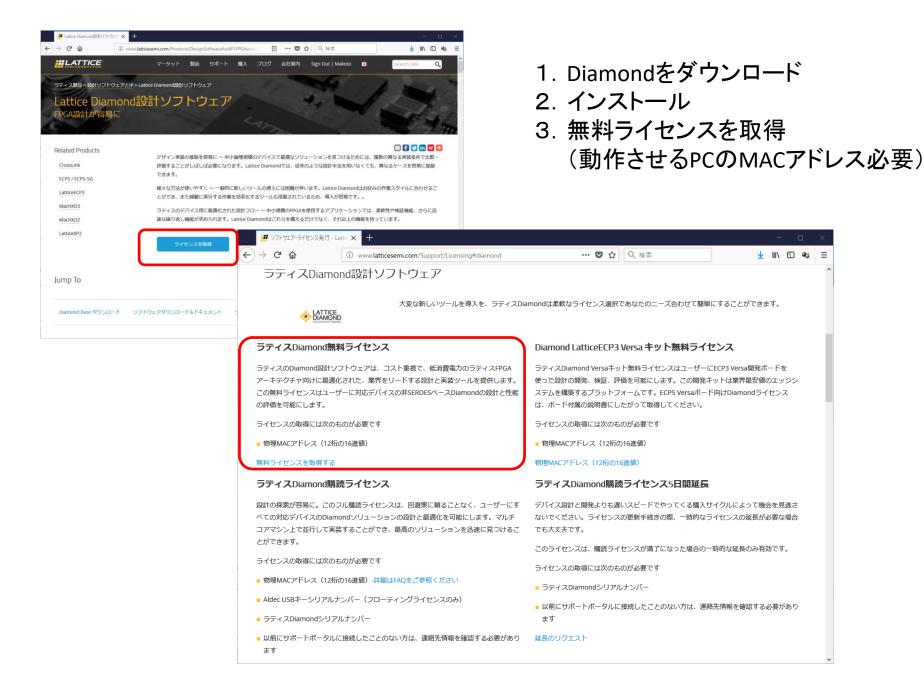
Lattice Semiconductor MachXO2-7000

Latticeのホームページで製品情報を見ると

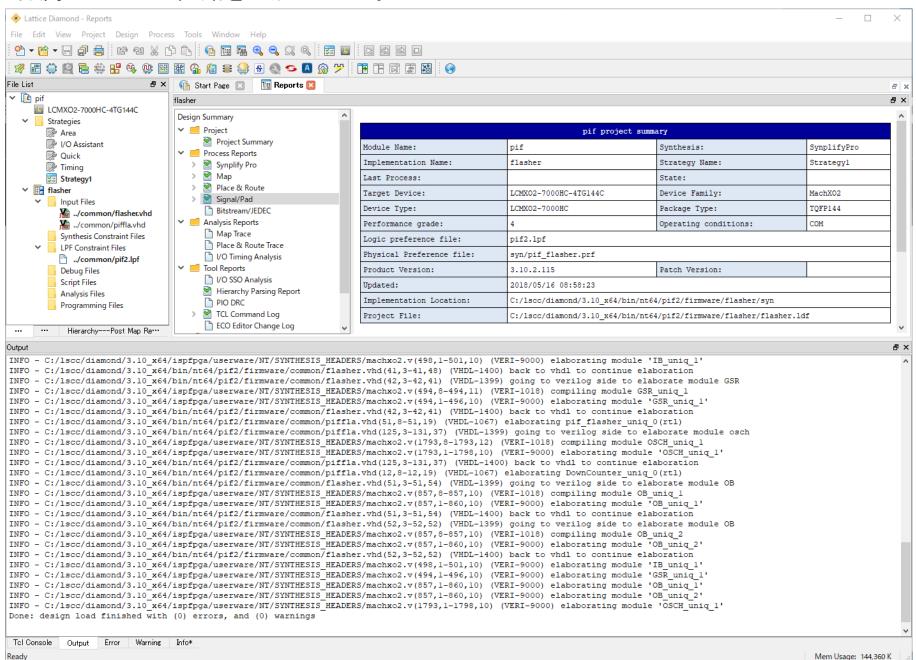




開発ツールは Lattice Diamond



付属のサンプル回路を生成しました。



```
-- flasher.vhd
-- Initial entry: 21-Apr-11 te
-- VHDL hierarchy is
       flasher
                       top level
       piffla.vhd
                         does the work!
-- Copyright (c) 2001 to 2013 te
library IEEE;
                   use IEEE. std_logic_1164. all;
library machxo2; use machxo2.components.all;
entity flasher is
  port ( GSRn
                   : in std_logic;
         LEDR.
          LEDG
                  : out std_logic );
end flasher;
architecture rtl of flasher is
 component pif_flasher is port ( red, green : out std_logic );
 end component pif_flasher;
 signal red_flash,
         green_flash : std_logic;
 signal GSRnX
                     : std_logic;
 attribute pullmode : string;
 attribute pullmode of GSRnX: signal is "UP"; -- else floats
begin
 -- global reset
 IBgsr : IB port map ( I=>GSRn, 0=>GSRnX );
 GSR_GSR : GSR port map ( GSR=>GSRnX );
 -- LED flasher
 F: pif_flasher port map ( red
                                       => red_flash,
                                       => green_flash );
                           green
 -- drive the LEDs
 REDL: OB port map ( I = \text{red\_flash} , 0 = \text{LEDR} );
 GRNL: OB port map ( I=)green flash, 0 \Rightarrow LEDG );
end rtl;
-- EOF ---
```